

令和6年度 第三回定例会 一般質問概要(令和6年9月24日)

1 介護保険制度の主任ケアマネージャー(主任ケアマネ)の人材確保と育成について

しいな質問要旨

介護業界全体が人手不足である中で、主任ケアマネは介護保険や福祉に関わる複雑なケースを取り扱うなど重要な役割を担っており、人材不足への対策が急務と指摘しました。また、**団塊の世代が後期高齢者に達することで要介護者が増加し、人材確保が重要性を増すと述べ、区の実情について見解を求めました。**

区長答弁要旨

介護支援専門員の人材確保と育成について、区は介護業界全体の人手不足と定着率の低さが課題と考え、令和6年度から介護職員実務者研修の助成を開始しました。他の自治体の施策も参考に、今後も区内で安定した介護サービス提供を目指して取り組みます。



2 要介護認定結果の遅延が及ぼす影響について

しいな質問要旨

コロナによる認定期間延長措置の終了後申請が増え、認定結果の通知まで30日以上かかるケースが多発している現状について、介護サービスの利用に支障が生じると述べました。特に、**高齢者や末期がん患者など、迅速な対応が必要なケースで遅延が発生することを懸念し、区がどのような対策を講じているか質問しました。**

区長答弁要旨

要介護認定に関しては、新型コロナによる認定延長措置の終了後申請が増えたため30日以内の処理が難しい状況であり、区は臨時審査会の開催や調査委託先の拡充など対策を講じています。認定調査が間に合わないまま被申請者が死亡した場合、介護サービス費用は自己負担となるため、特に緊急性の高いケースには迅速な認定通知を行っています。認定調査員の人材確保は困難な面もあり、今後はDXや委託条件の見直しを検討します。



3 災害時の高齢者向け自動安否確認システムの導入を提案

しいな質問要旨

今年の夏、徳丸地域では集中豪雨により浸水被害が発生し、避難が必要な高齢者が支援を必要とする状況が見られました。現在、区では「ひとり暮らし高齢者見守り対象者名簿」や「避難行動要支援者名簿」を保有し、支援体制を整えています。これが実際にどのように活用されたか、また被害者への対応が問われています。**品川区が導入予定の自動安否確認システムの事例を参考に、災害時の高齢者支援の強化として本区にも同様のシステム導入を提案します。**

区長答弁要旨

災害時の高齢者支援については、平時から民生委員や住民組織と連携し、顔の見える関係作りを進めており、7月31日の大雨では自主的な避難所が開設されましたが、避難指示には至らなかったため支援者名簿の活用例はありませんでした。水害被害者への支援としては、区職員が訪問して罹災証明申請の案内や消毒液の配布を行い、排水ますの点検や土のうステーションの紹介も実施しています。品川区で導入される自動安否確認システムについては、今後の効果を研究します。



4 東武練馬イオン前交差点への音響信号機設置と徳丸石川通りの信号機設置を要望

しいな質問要旨

東武練馬イオン前交差点への音響式信号機の設置については、視覚障害者の利用が見込まれる場所として地域の町会長さんからも区へ要望があります。過去の一般質問でも取り上げました。また、**徳丸石川通りの交差点については、通学路であることから信号機設置を要望しており、危険な交通状況にあるため、大型車両も通る同交差点での安全対策が求められています。区は地域の安全確保のため、設置基準の見直しや都や国への働きかけを行うことを求めます。**

区長答弁要旨

東武練馬駅イオン前の音響信号機設置については、警察署と協力して現地立会いなどの調査を行い、**徳丸石川通りの信号機設置は、交通量基準を満たさないため難しいものの、再度警察署に要望を伝えたいと考えています。**



東武練馬駅前にて活動中

しいな一般質問の総括

今回の一般質問においても、地域の高齢者や介護サービス利用者のための支援や安全確保の強化という視点から、日頃地域の皆さまから特にご要望の多かった課題について質問しました。“高齢になっても障害があっても暮らしやすい板橋区へ”という私に託された皆さまからの切なるご要望を、ひとつでも多く実現するために引き続き議会の内外で尽力して参ります。

決算調査特別委員会 質疑答弁概要(令和6年10月24日)

1 介護保険の認定調査結果の遅延問題について

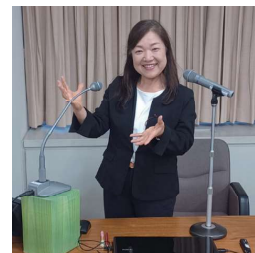
介護保険の認定調査結果が遅延し平均30日以上かかる現状を改善するため、委託料の引き上げやデジタル化の導入を提案。これに対し、区は他自治体との比較で委託料が高くないと認識し、今後も情報収集を進めながらDX化を検討すると回答。

2 紙おむつ助成について

要介護4・5の高齢者への紙おむつ助成額が月5,000円では不足し、特に非課税世帯に負担が大きいため増額を提案。利用者の実態調査から約57%の利用者が1,000円から2,000円の自己負担をしていることがわかり、今後もデータを基に制度を見直す意向を示しました。

3 低栄養リスク者における血清アルブミン値3.5グラム以下の方々の日常生活への影響について

低栄養リスク高齢者への支援として健診での血清アルブミン値3.5g以下の指導強化を提案し生活の質低下や医療費増加防止の重要性を指摘。区は数値と要介護度との関連性を確認し、アルブミン値を引き続き把握すると回答。



しいなひろみ プロフィール

地元の北野保育園、北野小学校、赤塚第一中学校出身。親子四代板橋区在住。早稲田大学大学院卒業。デイサービスや訪問介護事業の経営、介護教員としてのヘルパーの育成等、長く介護現場で活動。主任ケアマネージャーとして地域で暮らす高齢者の方々と共に歩んで参りました。平成31年4月板橋区議会議員選挙に初当選。

板橋区議会議員 無所属 しいなひろみ

〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1 10階

TEL 080-5187-7224 (直通ダイヤル)

FAX 03-3579-2734

E-mail hirorin@orion.ocn.ne.jp

HP <https://shiina-hiromi.com/>

公式HP

板橋区 しいなひろみ

検索

